

- ▶ 仙台空港は、平成28年7月より仙台国際空港(株)による運営が開始。
- ▶ 仙台空港から宮城県外の東北地方各所への2次交通の充実、柔軟な着陸料設定や積極的なエアポートセールスによる路線の誘致等、民間の創意工夫を活かした運営が進められている。

施設整備による利便性の向上

(出典: 仙台国際空港(株))

○新旅客搭乗施設(ピア棟)建設・供用開始(2018年10月～)

○ローコスト構造・運用をコンセプトに設計。国内線搭乗口が6から10力所に増加。発着機輻輳時の旅客処理能力が拡大。

民間委託を通じた路線拡充の動き

- ◇アジアナ航空ソウル線の増便(週4→7便) 平成28年6月28日～
- ◇タイガーエア台湾(国際線LCC)台北線の新規就航(週5便) 平成28年6月29日～
- ◇エバー航空台北線の増便(週2→4→7便) 平成28年10月12日/令和元年7月16日～
- ◇スカイマーク神戸線の就航(1日2便) 平成29年7月1日～
- ◇Peach(LCC) 仙台空港拠点化、新規就航等
 - ・札幌線(1日2往復) 平成29年9月24日～/増便(1日2→3便) 平成31年4月25日～
 - ・台北便(週4便) 平成29年9月25日～/増便(週4→7便) 平成31年4月25日～
- ◇フジドリームエアラインズ出雲線の新規就航(1日1便) 平成30年4月20日～
- ◇エアアジア・ジャパン中部線の新規就航(1日2便) 令和元年8月8日～
- ◇タイ国際航空バンコク線の就航(週3便) 令和元年10月30日～
- ◇中国国際航空の大連(経由)線の新規就航
 - ・仙台～大連(経由)～北京(週2便) 令和元年11月2日～

【就航便数】 民間委託後に53便/週の増便
 ※H28夏ダイヤ期首 367便/週 → R2冬ダイヤ期首 432便/週

旅客数の増加

○旅客数の目標値

	開始5年後 (平成32年度)	30年後 (平成57年度)
旅客	410万人	550万人
国内	362万人	435万人
国際	48万人	115万人
貨物	1万t	2.5万t

○旅客数の実績値

	平成27年度 (運営開始前)	令和元年度 (運営4年目)	
旅客	311万人	372万人	過去最高
国内	295万人	334万人	開始前比 13%増
国際	16万人	38万人	開始前比 137%増
貨物	0.7万t	0.7万t	

空港アクセスの拡充

鉄道	定期運行	バス
◇仙台空港～仙台(4往復増便)		
		◇福島・会津若松と直結する高速バス路線開設(1日3往復) 平成28年11月14日～
		◇松島と直結するバス路線開設(1日6往復) 平成29年1月25日～
		◇鶴岡・酒田方面と直結する高速バス路線開設(1日1往復) 平成29年4月1日～
		◇山形駅と直結するバス路線開設(1日5往復) 平成29年4月21日～
		◇仙台駅前エアポートリムジンバス路線開設(1日9往復) 平成31年3月16日～